

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員のCN、GX、生物多様性、DXなどの取組事例

実施主体	西濃建設 株式会社			
区分	CN (カーボンニュートラル) 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。	GX (グリーン転換) 化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素社会を構築しようとする取り組み	NP (ネイチャーポジティブ、生物多様性) 生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標	DX (デジタルトランスフォーメーション) データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。
	○			
取組名称	再生可能エネルギーの活用・普及促進			
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電設備による再生可能エネルギーの活用（西濃建設グループで約200箇所、35MW発電） ・ 太陽光発電事業の企業向けセミナーの開催。 			
経費				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギーによる温室効果ガス（CO2）の削減。 ・ 遊休資産（土地、建物）の有効活用。 ・ 余剰電気の売却による収入。 ・ 再生エネルギー事業の有効性を広く一般に伝える。 			
課題				
備考欄				

<p>写真①</p>	<p>地上設置太陽光発電</p>		
<p>写真②</p>	<p>屋根設置太陽光発電</p>		
<p>写真③</p>	<p>企業向けセミナー</p>		
<p>写真④</p>			